

令和7年度 当初予算の概要

総合計画の総仕上げ！



防府市総合政策部

目 次

1	当初予算編成の基本的な考え方	1
2	予算の状況	2
3	主要事業の概要	
(1)	市民・地域と進める防災力・減災力の強化	3
(2)	住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備	4
(3)	防府ファンの創出・拡大	9
(4)	行政のデジタル化の推進	1 1
(5)	統計調査に関する取り組み	1 2
(6)	第6次防府市総合計画の策定	1 3
(7)	ほうふの未来を見据えた調査研究	1 4

1 当初予算編成の基本的な考え方

「輝き！ほうふプラン」の基本目標である、
「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向けたまちづくりを進めます。

《 基本目標 》

「明るく豊かで健やかな防府」の実現

令和7年度は、第5次防府市総合計画の最終年度となることから、総合計画に掲げたプロジェクト等については、確実に実現するよう、総合計画の総仕上げに取り組むとともに、令和8年度からの第6次防府市総合計画を策定します。

「輝き！ほうふプラン」の目標実現に向け、本市の将来をしっかりと見据え、総合政策部では、主に以下に取り組めます。

- ☑がんばる地域を応援します！
- ☑公共交通を維持します！
- ☑ほうふの魅力を発信します！
- ☑防府ファンを増やします！
- ☑行政サービスのデジタル化を図ります！
- ☑国勢調査を確実に実施します！
- ☑第6次防府市総合計画を策定します！
- ☑ほうふの将来を見据えた研究を実施します！



令和7年4月1日

総合政策部長 永松 勉

2 予算の状況（一般会計）

課	項	目	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比	増減率
政策推進課	総務管理費	一般管理費	2,000 千円	2,000 千円	0 千円	0.0 %
	総務管理費	企画費	56,483 千円	31,065 千円	25,418 千円	81.8 %
	総務管理費	地域振興費	140,002 千円	121,841 千円	18,161 千円	14.9 %
	統計調査費	統計調査総務費	58 千円	45 千円	13 千円	28.9 %
	統計調査費	各種統計調査費	80,485 千円	10,430 千円	70,055 千円	671.7 %
	小 計		279,028 千円	165,381 千円	113,647 千円	68.7 %
地域振興課	総務管理費	支所及び出張所費	1,738 千円	1,684 千円	54 千円	3.2 %
	総務管理費	地域振興費	388,037 千円	358,836 千円	29,201 千円	8.1 %
	小 計		389,775 千円	360,520 千円	29,255 千円	8.1 %
デジタル推進課	総務管理費	電子計算費	1,169,447 千円	1,060,910 千円	108,537 千円	10.2 %
	小 計		1,169,447 千円	1,060,910 千円	108,537 千円	10.2 %
広報政策課	総務管理費	文書広報費	85,545 千円	80,064 千円	5,481 千円	6.8 %
	総務管理費	企画費	250,000 千円	150,000 千円	100,000 千円	66.7 %
	小 計		335,545 千円	230,064 千円	105,481 千円	45.8 %
合 計			1,784,020 千円	1,456,355 千円	327,665 千円	22.5 %

2 主要事業の概要

(1) 市民・地域と進める防災力・減災力の強化

【拡充】地区公共用施設整備事業



(地域振興課) 7,500千円

地域コミュニティ活動の拠点となる自治会館の新設や修繕等の費用の一部を助成することで、自治会の地域活動を支援します。

○ 自治会館の新築・改修

- ・地区公共用施設補助金 自治会館の新設(中古物件の購入を含む) 補助率：4/10、補助限度額：550万円
- 自治会館の改修、修繕 補助率：4/10、補助限度額：110万円

➢改修の概要：屋根・外壁・建具等の改修、
トイレの改修・バリアフリー化、下水道接続、浄化槽設置、
自治会館のバリアフリー化、等

【拡充】自治会館の新設に対する補助限度額
385万円 → 550万円

自治会館の建築費用の助成を強化することでその建築を促進し、安全・安心な市民生活を推進します。



新築された下河内自治会館(R4年度新築)

3 主要事業の概要

(2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

【拡充】がんばる地域応援事業



(地域振興課) 15,000千円

法定外公共物の維持管理、自治会活動のデジタル化、地域コミュニティの活性化等、様々な地域課題の解決に向けた自治会等による主体的な取組について、「地域のことは地域で」を原則としつつ、地域に身近な公民館を中心に支援します。

○地域課題の解決に取り組む自治会等の活動に必要な経費を支援

【継続】補助上限額 5万円 補助率 10/10

【拡充】補助上限額30万円 補助率 10/10 (地域自治会連合会)

・補助対象事業メニュー

- ①清掃・環境美化に関する事業(資機材の購入、業者委託等)
- ②生活道路の整備修繕(資機材の購入、業者委託、車両等レンタル)
- ③生活支援・福祉に関する事業(支援活動に係る経費)
- ④地域コミュニティの活性化・発展に資する事業(イベント開催費用)
- ⑤情報伝達・発信に関する事業(パソコン購入、ホームページ開設) など

○公民館による支援

出張所機能のある公民館が、自治会等から課題を聞き取り、支援内容の検討、申請の受付及び関係課と調整を行う。

3 主要事業の概要

(2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

【継続】防犯灯整備事業



(地域振興課) 12,560千円

安全、安心な市民生活の確保のため、自治会等が設置・管理する防犯灯に係る経費を助成します。
自治会等では設置困難な通学路については、子どもたちが安心して登下校できるよう、市が「地域安心防犯灯」を設置します。

① 自治会防犯灯整備事業

自治会が設置・管理する防犯灯に係る経費を助成します。

➤ 防犯灯設置・取替補助金

- ・LED防犯灯設置 補助率60%(上限額 21,000円) ※通学路等は、補助率80%(上限額 28,000円)
- ・ " 取替 補助率60%(上限額 16,000円)
- ・灯柱設置 補助率50%(上限額 32,000円) ※通学路等は、補助率70%(上限額 45,000円)

➤ 防犯灯電気料助成金

- ・自治会が設置した防犯灯の電気料金の一部を助成します。

② 地域安心防犯灯設置事業

➤ 自治会等では設置困難な通学路に、市が防犯灯を設置します。

- 〈主な設置基準〉・小学校又は中学校の隣接道路で、防犯灯を設置する場所から概ね50メートル以内に防犯灯その他の道路照明及び住居がなく、防犯上必要な場所であること
- ・隣接道路以外の通学路で、道路から概ね50メートル以内に、住居のない区間が200メートル以上連続していること



(LED防犯灯イメージ)

3 主要事業の概要

(2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

【継続】自治会振興事業



(地域振興課) 78,609千円

地域コミュニティ活動の活性化を図るため、自治会等の活動に対して各種支援を行います。

① 振興助成金

住民自治の振興を図るため、親睦、相互扶助活動を行っている自治会等に対し、助成を行います。

② 地域貢献活動保険制度

市内の自治会、市民活動団体等が行う地域貢献活動中に事故が発生した場合に備え、市が保険に加入することで、市民等の積極的な地域活動への参加を支援するとともに、地域貢献活動の促進を図ります。

〈対象となる団体〉

自治会活動、市民活動、その他のこれらに類する公益的な活動を自主的、継続的に実施している市内の団体

〈対象となる活動例〉

- ・広報の配布、回覧
- ・児童の登下校の見守り活動
- ・地域の清掃活動
- ・どんど焼きなどの地域行事



【継続】自治宝くじコミュニティ助成事業



(地域振興課) 5,000千円

地域コミュニティ活動の充実と地域住民の福祉向上を図るため、(一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、活動に必要な備品の整備に対して助成を行います。

① 一般コミュニティ助成事業

地域コミュニティ団体が購入する備品に対して補助を行います。

➢整備する備品：机、イス、テント、草刈り機、発電機等



3 主要事業の概要

(2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

【拡充】公共交通対策事業



①～⑥(政策推進課) 140,500千円

⑦(地域振興課) 97,566千円

路線バスの再編や、高齢者等の交通弱者対策も含めた地域の実情に応じた交通サービスの検討を行うなど、交通事業者等と連携し、公共交通の維持・確保を図ります。

① 生活バス路線対策事業

路線維持のため、交通事業者の運行に要する経費の一部を補助します。



② デマンドタクシー運行事業

大道及び玉祖地域において、デマンド型乗合タクシーの運行を行います。

③ 夜間タクシー運行支援事業

夜間・深夜帯の公共交通の体制を確保するため、タクシー事業者を支援します。

④ 運転士不足対策事業

公共交通業界の運転士不足の改善に向け、交通事業者への新規雇用者に報奨金を支給します。



⑤ 【新規】快適バスまち実証事業

バス停の待合環境向上のため、実証的にバス停の上屋整備を実施するとともに、バス停に隣接した商業施設等の協力を得たバスまちスポット(バス待合所)を開設します。

⑥ 【新規】サイクル・アンド・ライド推進事業

バスを利用し防府駅で降車した人のレンタサイクル利用料を無償とする実証事業を行います。



⑦ 離島航路対策事業

野島～三田尻航路を維持するため、(有)野島海運の欠損金の一部を補助します。

3 主要事業の概要

(3)防府ファンの創出・拡大

【拡充】広報業務



(広報政策課)84,820千円

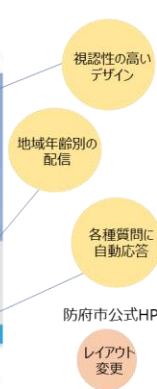
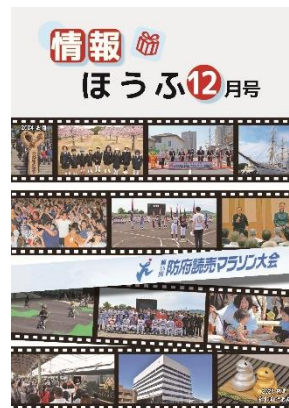
行政サービスの周知や利用促進、イベント等の賑わい創出のため、市民に正確な市政情報を提供します。「ほうふファン」獲得のため、市の魅力を様々な媒体で積極的・戦略的に発信します。

◆「情報ほうふ」「お知らせほうふ」を、
もっと市民の顔が見える広報紙へ

◆【拡充】公式LINEでの発信を強化
ホームページをスマホでも見やすいデザインに

◆新庁舎や駅周辺で、市の魅力を発信

必要な情報を
必要なときに！



3 主要事業の概要

(3) 防府ファンの創出・拡大

ふるさと寄附金推進事業



(広報政策課) 250,000千円

多くの方に共感していただける指定寄附事業により防府市の魅力を発信することで、全国から寄附を受け付け、防府ファンの獲得や地場産業の振興を図ります。

- ◆ 新たな指定寄附事業により防府市をPR
- ◆ 市内事業者と連携し、魅力ある返礼品を開拓
- ◆ 同郷会、同窓会などあらゆる機会を捉え、
様々な媒体で売り込み活動を強力に展開

新たな指定寄附事業(令和7年4月～)

- ・「心からもてなすまち防府」観光魅力向上事業
- ・さあ、世界へ！防府読売マラソン大会応援事業
- ・日本一の担い手支援！農業振興事業
- ・笑いを忘れず楽しく暮らす 野島活性化事業
- ・ほうふっ子全力応援事業
- ・みんなで遊ぼう！市内全域公園整備事業
- ・人と猫が共存するまちを目指して TNR活動支援事業



3 主要事業の概要

(3) 防府ファンの創出・拡大

【拡充】UJIターン促進事業



(政策推進課) 23,961千円

① 防府市の魅力発信

山口県や山口県央連携都市圏域を構成する市町と連携し、首都圏等で開催される移住フェアへの出展等により、本市の魅力を発信します。



② 防府市移住支援金（国事業）

移住・定住の促進と中小企業等における人手不足の解消を目的に、東京圏から本市へ移住して就職・起業する方、また、テレワークによる「転職なき移住」をされる方に移住支援金を支給します。

〔対象者〕移住直前に通算5年以上、東京23区内に在住又は通勤していた方
※その他就業者要件等も満たす必要あり

〔支給額〕 ○単身 60万円
○2人以上の世帯 100万円
子育て世帯への加算：18歳未満の世帯員一人につき100万円

③ 防府市移住支援金（県事業）

国事業の対象とならない大都市圏から本市へ移住される方で、テレワークによる「転職なき移住」をされる方に加え、国事業同様、就職・起業する方にも支給対象者を拡大し移住支援金を支給します。

〔対象者〕移住直前に通算5年以上、東京圏（国事業の対象を除く東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、広島県、福岡県に在住していた方※その他就業者要件等も満たす必要あり

〔支給額〕 ○単身 30万円
○2人以上の世帯 50万円
子育て世帯への加算：18歳未満の世帯員一人につき50万円

④ 【拡充】地方就職学生支援事業（国事業）

東京都内に本部を置く大学の東京圏のキャンパスに在学する卒業年度の学部生を対象にした地方企業への就職支援（交通費、移転料補助）を行うことにより若者のUJIターン促進を強化します。

〔対象者〕
・大学の本部が東京都内にある学部生（交通費）
・交通費の補助を受けた学部生（移転料）

〔支給額〕
・選考面接に要した交通費の一部 最大2万円
・移転に要した費用の一部 最大11万3千円

3 主要事業の概要

(4) 行政のデジタル化の推進

【拡充】DX推進事業



(デジタル推進課) 691,563千円

行政手続や行政事務のあり方を変革し、デジタル技術の活用で、行政サービスをより良い方向に導く事業を実施します。

① 行政業務システムの標準化・共通化

将来にわたる住民の利便性の向上や行政運営の効率化に向け、住民基本台帳システムなどの行政業務システムを、国が定める標準仕様に基づくシステムに移行し、運用を開始します。(令和8年1月運用開始予定)

② 行政手続のオンライン化

いつでも、どこでも、子育て・介護などの生活に密着した手続や、イベントの申込等ができるよう、行政手続のオンライン化を進めます。



③ AI-OCR・RPA※導入推進

企画立案や相談業務など、職員が「人ならではの業務」に注力できるよう、大量かつ定型的な業務を自動化できるAI-OCRやRPAシステムを運用します。



※AI-OCR・・・人工知能を利用した光学式文字認識ツール(手書き文字の読み取りが可能)

※RPA・・・定型的な事務を人に代わって自動処理することができるツール

④ 高齢者向けスマホ等活用支援

デジタル格差の解消に向け、高齢者を対象に公民館でスマホ教室を開催するとともに、自治会運営の負担軽減につながるよう、自治会向けスマホ教室を開催します。



⑤ 【拡充】庁内DX人材育成

効果的にデジタル技術を活用し、行政の抱える課題を解決に導くことができるデジタル人材の育成に取り組みます。

DX推進の中心となる「DX推進リーダー」に加え、そのサポート役となる「DXチャレンジャー」を育成します。



3 主要事業の概要

(5) 統計調査に関する取り組み

【新規】令和7年国勢調査

(政策推進課) 79,634千円

5年に1度の国勢調査を実施します。

令和7年国勢調査の概要

【調査の期日】 令和7年10月1日現在

【調査の対象】 日本国内にふだん住んでいるすべての人(外国人を含む)及び世帯

【調査事項】 ①世帯員について(13項目)

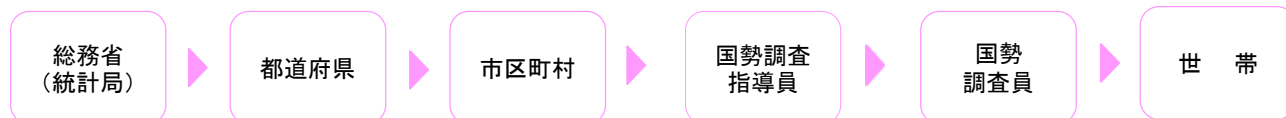
「男女の別」「出生の年月」「国籍」「就業状態」「従業地又は通学地」など

②世帯について(4項目)

「世帯員の数」「世帯の種類」「住居の種類」「住宅の建て方」



【調査の流れ】 令和7年9月下旬頃から調査員が各世帯を訪問し、調査書類を配布します。インターネット回答もしくは、郵送提出又は調査員へ直接提出のいずれかの方法でご回答いただきます。調査完了後は、すべての調査票が総務省統計局に集められ、独立行政法人統計センターで集計されます。



【結果の公表】 調査の結果は最も早い「人口速報集計」を令和8年5月までに公表し、その後、年齢別人口・世帯の状況などを集計した「人口等基本集計」を令和8年9月までに公表される予定です。

3 主要事業の概要

(6) 第6次防府市総合計画の策定

【新規】第6次防府市総合計画策定

(政策推進課) 302千円

第5次防府市総合計画が令和8年3月で終了するため、「輝き！ほうふプラン」の基本目標である「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向け、第6次防府市総合計画を策定します。

第5次総合計画の基本的な考え方を引き継ぎます！！



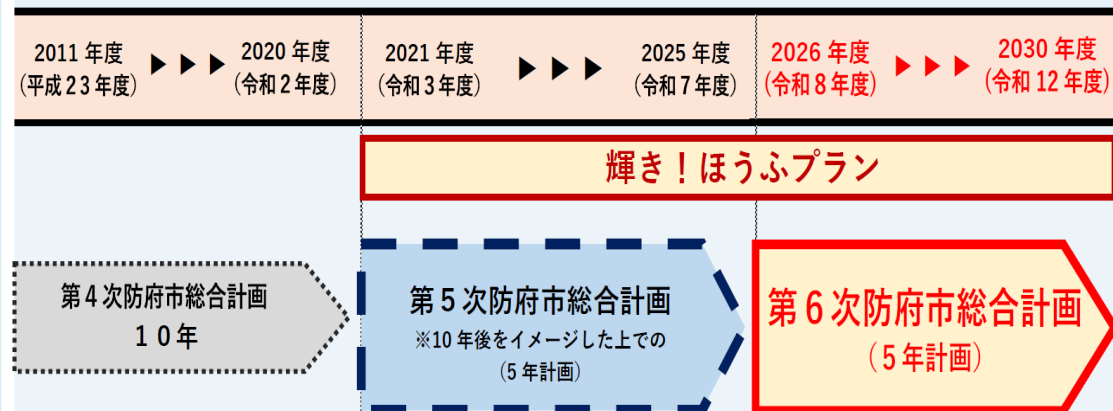
未来に向けた取組をしっかりと進めます！

市民とともに進めます！

SDGsの理念に沿って推進します！

実行性を重視した5年間の計画です！

誰にでもわかりやすい計画としています！



3 主要事業の概要

(7) ほうふの未来を見据えた調査研究

【新規】ほうふの未来を見据えた調査研究

(地域振興課) 6,000千円

(政策推進課) 14,000千円

未来のほうふを見据えたまちづくり

- ➡ 20年後、30年後のほうふの将来を見据えたまちづくりを進めるため、まちづくりや交通体系、子育て等について、専門家と一緒に研究を進めます。
- ➡ 令和8年度から開始する、第6次総合計画や地域公共交通計画等にも役立てます。



学校を核とする野島活性化プロジェクト

- ❏ 茜島シーサイドスクールの活用、情報発信強化
- ❏ 防府駅・三田尻港間の利便性向上
(マイクロバスで送迎)
- ❏ 8月8日「野島の日」を中心としたイベントの開催
- ❏ 地域おこし協力隊による魅力発信
- ❏ 野島海運の「レインボーのしま」を活用したクルーズ
- ❏ 島ならではの離島体験

などの活性化策



交流拡大

活性化

➡ 基本構想の策定

- ❏ 野島ならではの地域との連携(自然体験、伝統芸能の継承 など)
- ❏ 野島の魅力をいかした交流(宿泊施設の整備、体験学習 など)
- ❏ 魅力ある校舎への改修(コミュニティルーム、宿泊、防災等の検討)

輝き！ほうふプラン・第6次総合計画へ向けての調査 など